

6-1 5/5時の指導計画

(1) 目標

- ・ 体験文(または体験文に基いた創作文)を読み合って故事成語の基になった漢文に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすることができる。

(2) 展開

|     | 学習活動   | 教材資料           | 指導上の留意点  | 評価規準と評価方法<br>Cの状況にある生徒への手立て   |
|-----|--|----------------|--|---|
| 導入  | 1 学修計画表で前時までの学習を振り返る。<br>2 本時の目標を確認する。   | 学習計画表          | ○ワークシート③を読み返させ、故事成語が日常生活で生きて使われることを再確認させる。   |   |
|     | 体験文(または体験文に基いた創作文)を読み合って、ものの見方や考え方を広くしよう   |                |  |   |
| 展開  | 3 グループで体験文(または体験に基づいた創作文)を読み合い、様々な故事成語について、その意味の理解を確実にする。<br><br>4 グループで作品についての評価を交流しながら、グループの代表者を決める。       | ワークシート③<br>付せん | ○体験文に書かれたような体験をしたことがないか考えさせながら読ませる。<br>○体験文のよいところやアドバイスを付せんに書いて作品に張り付けてまわすように指示する。   | 読-1 体験文(または体験文に基いた創作文)を読み合って、故事成語の基になった漢文に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くしている。<br><b>【評価表の記述】</b><br>評価文例を示し、その中から選んで書かせる。 |
|     | 5 学級で体験文を発表し合い、その他意見文野本になった故事成語を考える。<br><br>〔手順〕<br>1) グループの代表者は基にした故事成語を伏せて体験文を発表する。<br>2) 発表を聞いて、故事成語を当てる。 | 評価表            | ○ 体験文の発表は、基にした故事成語を伏せて発表させ、その故事成語を聞き手が当てるというクイズ方式で行う。<br>○故事成語を思い浮かべる根拠となったところなどをよいところとして評価させる。<br>○アドバイスには、こうすればよく分かるといったアイデアを書かせる。 |   |
| まとめ | 7 単元の学習を振り返り、身に付けた力やその力を活用できそうな場面について考える。  | 学習計画表          | ○単元の学習活動について学習集団に対する教師の評価を伝え、次の学習単元への意欲をもたせる。  |   |